

令和4年度施設関係者評価

令和5年3月31日

報告者氏名 菊地弘子
 評価者氏名 百戸澄江



全体評価

コロナ感染症のため、保育行事等、急遽中止や配慮がなされ、保護者、子どもにも安全・健康の心配がござい、このたびは、運営の努力が認められ、これからも保育に工夫を重ね、よりよい保育を期待しております。

個別評価

評価項目		実施状況	評価
教育課程指導	全体計画の立案、実践	4月計画作成、随時評価、3月評価反省及び改善事項の洗い出し	5
	年齢別指導計画	年案、月案、週案作成	5
	保育の記録	日々の保育記録（日誌） 保育ドキュメントの作成	5
保健管理	学校保健計画	看護師を中心に4月計画作成、随時評価、3月評価反省及び改善事項の洗い出し	4.8
安全管理	学校安全計画	幹部職員を中心に4月計画作成、随時評価、3月評価反省及び改善事項の洗い出し	4.8
特別支援教育	発達支援	心理士による指導助言実施	4.8
組織運営	園務分掌	職位・分掌に基づき遂行	4.8
	職員会議	リモート会議月2回（全職員）	5
	運営会議	対面で月1回（副主幹以上）	5
	給食会議	書面で意見交換	5
研修	園内研修	園内研修：公開保育（保育団体及び町内関係者）	5
	外部研修	職位職階に対応したオンライン研修実施	5
教育目標	根気強く取り組む子 思いやりがある子 挨拶ができる子	保育活動の中で具現化	4.8
情報提供	お知らせ	園だより・一斉メールの活用	5
	保育内容	ホームページに掲載（ブログ・ツイッター他）	5
保護者との連携	行事への招待、保育の公開	運動会参観（全員）、発表会（2歳以上）、保育参観（全員）、保育ドキュメント掲示 動画公開	5
地域住民との連携	行事への招待	なし	3.8
子育て支援	子育て支援室	予約による受け入れ	4.8
預かり保育		1号認定児に対する 午後の預かりを実施	4.8
教育環境整備	教育環境整備	用務員、主幹保育教諭を中心に整備	4.8
食育	食育活動	調理担当を中心に食育計画作成、クッキング活動 野菜、コメ栽培	5
養護	健康支援	看護師を中心に検温、手指衛生の指導、体調管理 午睡チェック 0才：5分毎 1才：10分毎	5
苦情解決		掲示あり 記録簿あり	5

保護者代表評価者氏名 秋田望美・葛貫真奈美・黒沢尚子・渡邊佳之

令和4年度 施設関係者評価会議

令和5年3月30日（木） 午後5時より

参加者：理事1名 きりん組保護者代表5名

目的：保育者の自己評価、園の自己評価をもとに、現状に対する共通理解を図り
管理面、運営面等の改善協力を促進する。

1. 保育者の自己評価（2010年度より実施）

「平成30年度施行幼保連携型認定こども園新教育・保育要領」

に基づく自己チェックリスト100（保育総合研究会監修）

○実施方法：年2回（8月・1月）実施 項目ごとに4段階評価

8月は前期の振り返りを行い、達成度や課題の確認を行った。

2月は年間を通した振り返りを行い、クラス運営、次年度への課題を明らかにした。

○集計方法：「十分している」および「している」の数値を集計

<自己評価集計結果> 資料1～3 参照

①保育関係（園長・支援担当含む）17人 100項目

I 園の基本姿勢について 90.6% （前年 96.5%）

II 教育保育要領理解と実践

総則 85.4% （前年 78.8%）

内容・配慮事項 89.7% （前年 77.9%）

健康安全 87.4% （前年 78.7%）

子育ての支援 74.2% （前年 70.5%）

III 独自の取り組み 73.6% （前年 70.6%）

②給食関係4 150項目 食育 63.9%・食事の提供 82.6%・衛生管理 93.0%

③看護・支援3 100項目のうちの該当部分のみ

<考察>

集計結果から、本年度は認定こども園としての姿勢については 共通理解ができてきているものの、職員個々の役職変更や勤務形態の変更などに伴い、職務内容に対する達成度が一部低くなっている。自己評価の中で課題が明らかとなり、次年度への意欲が高まりつつあると感じる。

保育の理解と実践はすべてにおいて増加傾向である。エッセンシャルワーカーとして求められている業務、支援が広く理解を得て、子供たち及び保護者への対応に根拠がもててきていることによると推察する。一方、小学校との接続は特に年長児との交流活動が実現し、オンラインでも交流が生まれたことに手ごたえを感じている。ただし、諸機関との連携、地域の子育て

家庭支援は感染防止のために質、量ともに少なかったので、今後はより工夫を重ねながら活動を展開していく必要がある。

給食関係では、衛生管理に関して担当者の中で一段と厳しい規制を心掛けながら、チームワーク良く年長とのクッキングなど子供たちにとっての楽しい取り組みが目立っていた。実践面での評価は数字以上に高く感じる。

クラス運営に関しては、すべてのクラスで年齢なりの課題に沿い、子供たちとかかわりを深めることができた。季節の行事やごっこ遊びなどはアイデアを持ち寄り、子供たちとともに楽しむことができたことを実感している。保護者を巻き込んだの行事も若干増えたことで保護者の反応がじかに伝わる場面が多くなり、保育を展開するうえでの大きな励みとなっていると感じる。

2. 園の自己評価

①保健衛生

- ・園ではリーダーによる体調管理、手洗い指導、(マスク着用)、保育者の細かい健康観察と看護師によるいち早い隔離、共用場所の清掃回数を増やすなどの対応を心掛けて実践してきた。また、感染症患者の発生に際しては行政との連携によるクラス単位での検査を行いながら、拡大を防止する対応をとってきた。
- ・胃腸炎の発生も見られたが、徹底的な消毒清掃を行うことで規模が拡大せずに済んだ。
- ・保健関係の情報発信は年4回の保健日より、まち comi (随時) を通して行った。保護者の皆様の送迎への素早い対応をいただき、改めて保護者の皆様に支えていただいていたことを痛感している。

②保護者とのコミュニケーション

- ・前年度の保護者アンケートに基づき、職員間での話し合いを行った。手法や見通しについての統計とすべての意見に対する回答を行い、4月に公表(園内掲示)した。また、保護者参加での行事についての要望や園だよりの一新などに取り組んだ。
- ・行事の対面での公開は運動会、発表会、保育参観となった。いずれも学年単位や分散で実施したが、間近で子供たちの呼吸を感じていただくことができたのではと感じている。
- ・まち comi メールでの発信は130回を超え、危機管理としての感染症情報や行事実施にあたっての詳細連絡、動画のパスワード通知はそれぞれ40以上となった。
- ・動画などの近距離での映像やドキュメントでの発信を増やし、普段の表情や保育の様子を感じていただいたことは、保護者の安心感や育ちの共有につながったと感じる。

③園の組織化と保育の質の向上

- ・職員間の感染防止として、本年も職員会議はリモートで実施した。
- ・月1回の運営会議、臨時会議は少人数での対面会議とした。
- ・給食会議は保育日誌の記録検証と協議資料への書き込みにより書面で実施した。
- ・園内研修は看護師による保健研修を新規採用者中心に実施した。
- ・消防署との連携で救急救命の講習を組み入れたが、爆発的な感染拡大の時期にあたり、中止となった。
- ・外部研修のほとんどがオンラインになった。保育者の質の向上として国の求めているキャリアアップ研修（3日間）にはそれぞれの園務分掌に対応した分野を中心に延べ6名が参加した。保育関係団体の主催する研修会もオンラインが主流となり、実技や講義なども園にいながら時間調整をしながら複数名で受講することができ、共通理解に役立った（述べ29名）。
- ・子どものやりたいこと、経験してほしいことなどを組み込みながらコーナー保育に取り組んできた。

◎今後の展望

新型コロナウイルス感染症は、発生当初のすさまじい脅威からすると大きく受け止め方が変わり、社会全体がコロナとの共生を目指して5類への移行という位置づけにたどり着いた。これから規制はなくなるが、手洗いやうがい、消毒といった生活習慣が定着できるよう取り組んでいく。

保育の世界でもICT化が進み、安全の確保という観点でバスへの送致装着が義務となった。また、保育のありようについても、保育者の関わり方など様々な問題が取りざたされてきている。機器の有効性は限定的であり、操作、利用する側の意識が問われていくと思われる。当園では、子どもの人権や発達を支える環境づくりについて研修の機会を増やし、「子どもの最善の利益」を保障する保育の実践を目指していきたい。また、アンケートや日々の関わり合いの中で保護者の皆様と対話を重ね、将来をたくましく生きていく心や体の育ちを応援していきたい。

★評価者の皆様に行っていただきたいこと★

①全体の評価・・・園生活全体についてご記入ください。

②個別評価・・・当日以下の書類等を展示いたします。5段階評価でお願いいたします。

- ・教育課程・指導・保健管理・安全管理
全体計画に基づく安全・保健・食育・行事計画等
年齢別指導計画（年間・月間・週：パソコン）
毎日の保育記録（パソコン）
- ・特別支援教育 発達支援 保健センター 西南医療センターとの連携
- ・組織運営 園務分掌の継続
毎週月、金の職員朝会
月2回のリモート職員会議（PDCAによる改善）
月1回の運営会議 ・給食会議
- ・研修 キャリアアップ研修
その他オンライン研修
救命講習（今年度未実施）
- ・教育目標 園の目標「根気強く取り組む子・思いやりがある子、挨拶ができる子」
- ・情報提供 ①お知らせ・・・園だより・HP・マチコミメールの活用
②保育内容・・・動画公開・ドキュメント・ブログ・ツイッター・
- ・保護者・地域住民との連携 行事への保護者限定参加
- ・子育て支援 常時開設（人数制限予約制での受け入れ）、見学の際の相談受付
- ・預かり保育 1号認定児に対する 午後の預かりを実施
- ・教育環境整備 主幹保育教諭、用務員を中心に整備

③その他必要な評価

- ・食育 野菜、米栽培を実施
- ・養護 0歳児 5分ごとの午睡チェック
1歳児 10分ごとの午睡チェック
- ・苦情解決 掲示あり 記録簿あり

④課題と検討・・・要望 気づいたことをご記入ください。